



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社ライトアップ 上場取引所 東
コード番号 6580 URL <https://www.writeup.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 崇
問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 村越 亨 TEL 03-5784-0700
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	616	△24.4	8	△74.3	19	△47.0	4	△80.8
2026年3月期第1四半期	814	20.2	31	—	35	—	22	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △0百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 23百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	0.87	0.87
2026年3月期第1四半期	4.48	4.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,500	3,077	87.9
2026年3月期	3,787	3,290	86.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 3,077百万円 2026年3月期 3,290百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	30.4	705	50.1	695	42.8	482	86.8	94.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	5,806,000株	2026年3月期	5,806,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	835,384株	2026年3月期	681,384株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	5,065,210株	2026年3月期1Q	5,122,849株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、円安を背景とする原材料・エネルギーコストの高止まり、中東情勢等の地政学リスクの高まり、米国の通商政策などの動向等による影響など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「全国、全ての中小企業を黒字にする」という理念に基づいて各事業に取り組んでまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は616,272千円（前年同四半期比24.4%減）、営業利益は8,190千円（同74.3%減）、経常利益は19,065千円（同47.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,394千円（同80.8%減）となりました。

なお、今期の売上予算につきましては、AI技術の急速な進展を踏まえ、上半期を自社AIサービス群の開発及び市場投入に向けた先行投資期間と位置付け、開発や営業の人員など人的資源を重点的に投下することとしており、その成果が顕在化するのとは下半期以降となる見込みであることから、下期に売上が偏重する計画を立てております。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

AIソリューション事業におきましては、より一層安定的な成長基盤を確立するため、これまで培ってきた中小企業支援の実績を基盤として、より収益性が高いAIを活用した新たな経営支援サービスの開発と提供に注力し、補助金等の公的支援制度活用支援サービス等の主力サービスからの事業構造の変革と収益力の強化を進めております。当第1四半期連結累計期間は、「AI SaaS」、「AI人材育成」、「AI運用代行（BPO）」、「AI開発支援」の4つの領域を中心に、自社AIサービス群の開発とその市場検証を行うための試験的な販売活動に人員を重点的に再配置するなど、先行投資期間と位置付けて事業運営を行ってまいりました。事業構造の変革と収益力の強化を進めた結果、AI関連サービスの売上は伸長し利益率も改善傾向となったものの、これまでの収益の柱であった主力サービスの売上減少の全てを相殺するには至らず、前年同四半期と比べて減収減益となりました。

この結果、同セグメントの売上高は564,920千円（前年同四半期比25.0%減）、セグメント利益は91,457千円（同18.4%減）となりました。

その他の事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は51,351千円（同17.0%減）、セグメント損失は8,001千円（前年同四半期はセグメント利益757千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,030,034千円となり、前連結会計年度末に比べ270,072千円減少いたしました。これは主に売掛金が128,786千円増加した一方で、現金及び預金が378,673千円、その他に含まれる前払費用が13,402千円減少したことによるものであります。固定資産は470,748千円となり、前連結会計年度末に比べ16,602千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産のその他に含まれる長期未収入金が6,244千円増加した一方で、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェアが9,720千円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が8,691千円減少したこと及び資産の控除項目である貸倒引当金が7,071千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,500,783千円となり、前連結会計年度末に比べ286,675千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は421,035千円となり、前連結会計年度末に比べ73,590千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が61,834千円、契約負債が12,105千円減少したことによるものであります。固定負債は1,880千円となり、前連結会計年度末に比べ433千円減少いたしました。これはリース債務が433千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は422,915千円となり、前連結会計年度末に比べ74,024千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は3,077,868千円となり、前連結会計年度末に比べ212,651千円減少いたしました。これは主に自己株式の取得141,660千円及び剰余金の配当71,744千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は87.9%（前連結会計年度末は86.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月15日に「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,581,754	2,203,080
売掛金	646,920	775,706
仕掛品	1,068	1,987
貯蔵品	480	474
その他	95,108	71,528
貸倒引当金	△25,224	△22,742
流動資産合計	3,300,107	3,030,034
固定資産		
有形固定資産	26,945	28,920
無形固定資産		
その他	157,639	147,893
無形固定資産合計	157,639	147,893
投資その他の資産		
その他	433,712	431,951
貸倒引当金	△130,945	△138,017
投資その他の資産合計	302,766	293,934
固定資産合計	487,351	470,748
資産合計	3,787,459	3,500,783
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,617	25,389
未払法人税等	69,750	7,915
契約負債	196,031	183,925
その他	197,225	203,804
流動負債合計	494,625	421,035
固定負債		
リース債務	2,314	1,880
固定負債合計	2,314	1,880
負債合計	496,939	422,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	386,381	386,381
資本剰余金	304,281	304,281
利益剰余金	3,027,560	2,957,236
自己株式	△415,859	△553,544
株主資本合計	3,302,363	3,094,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,844	△16,486
その他の包括利益累計額合計	△11,844	△16,486
純資産合計	3,290,519	3,077,868
負債純資産合計	3,787,459	3,500,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	814,774	616,272
売上原価	155,777	118,735
売上総利益	658,997	497,536
販売費及び一般管理費	627,180	489,345
営業利益	31,816	8,190
営業外収益		
受取利息	8	7
助成金収入	—	11,226
補助金収入	3,821	—
その他	331	104
営業外収益合計	4,161	11,338
営業外費用		
支払手数料	—	458
その他	6	4
営業外費用合計	6	463
経常利益	35,972	19,065
税金等調整前四半期純利益	35,972	19,065
法人税、住民税及び事業税	241	3,842
法人税等調整額	12,799	10,828
法人税等合計	13,041	14,670
四半期純利益	22,930	4,394
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,930	4,394

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	22,930	4,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,069	△4,642
その他の包括利益合計	1,069	△4,642
四半期包括利益	23,999	△248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,999	△248

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント	その他	合計
	A I ソリューション事業		
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	483,248	61,867	545,115
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	269,658	—	269,658
顧客との契約から生じる収益	752,906	61,867	814,774
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	752,906	61,867	814,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	752,906	61,867	814,774
セグメント利益	112,076	757	112,833

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	112,076
「その他」の区分の利益	757
全社費用(注)	△81,017
四半期連結損益計算書の営業利益	31,816

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他	合計
	A I ソリューション事業		
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	391,440	51,351	442,792
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	173,480	—	173,480
顧客との契約から生じる収益	564,920	51,351	616,272
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	564,920	51,351	616,272
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	564,920	51,351	616,272
セグメント利益	91,457	△8,001	83,455

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	91,457
「その他」の区分の利益	△8,001
全社費用(注)	△75,264
四半期連結損益計算書の営業利益	8,190

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	11,982千円	13,267千円
のれん償却額	2,395	—